

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ブロッサムジュニア上越春日山教室				公表日	令和 8 年 4 月 15 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%		・利用者様の年齢も上がり身体が大きくなり、スペースな確保については、さらなる工夫が必要と感じる事がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60%	40%	・段差があるところでは壁に手をつくよう促したり、横で少し体を支える、見通しの悪い狭い通路等では職員がたつなど配置を考えている。 ・段差は見守りつつ、必要なときは介助をしている。 ・安全に配慮して言葉掛けをする。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・使用するもの、場所等の消毒を丁寧に行う。児童の状態に応じて環境設定や配慮する点など、職員に聞いたり話し合いながら事前に準備することを心掛けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・日々の支援を振り返り出てきた課題に対して職員全員で考え改善することを心掛けている。自身で疑問に思ったことや悩んだことも積極的に発信していきたい。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%		・評価表について把握していないところがあるため、確認し今後の業務改善に活かしたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	・日々の支援を振り返り、職員間のコミュニケーションを通して共有を心掛けている。コミュニケーションの中だけでなくちゃんとした話し合いの場を設けて意見交換ができる機会を作りたい		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	・第三者に自ら相談し自身の支援について振り返ることを意識している。保護者アンケート等把握できていないところがあるため確認し今後の業務改善に活かしたい		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・児童がいない時間帯に時間を確保していたり研修を受けている。 ・Zoomではない研修に参加したことは、研修をするという意識がより持てて良かった。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表にされているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成しているか。	80%	20%	・共有された個別支援計画を確認し子どもと保護者のニーズについて確認している。		
	13	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・共有された個別支援計画を確認し、子どもや保護者のニーズ、支援の方法について職員間で共通認識をもてるようにしている。		
	14	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・個別学習を考える際や支援の振り返りをする際に、個別支援計画を参考に考えている。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		・自分自身で再度ガイドラインのねらいや支援内容について確認したい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	・今は自分自身でその日の活動について意図や意識して支援、配慮する点等理解してから行えるように心掛けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・個々の子どもや状態に応じて、支援の方法や活動の方法を変えながら行っている。どんな支援が必要か事前に分からないことを確認することを心掛けている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・活動の内容や意図について分からないことは聞き、理解してから行えるよう心掛けている。個別学習においてもどんな風に何を意識して取り組むのか共有する必要がある。	
	21	支援終了後には、職員間で行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・些細なことでも疑問に思ったこと課題に感じたことを職員間で共有し自分一人の判断にならないようにする。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・記録を残す際には1人の見解にならないよう、職員間で共有、話し合いを行い、事実を具体的に記すよう心掛けている。	・記録の記入はしているが、遅れることがある。その点については改善方法を話し合っていく必要があると感じる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	80%	20%	・定期的に子どもの様子を話し合い共有している。その際に個別支援計画を見直し、支援の改善やニーズの変化に対応できるよう心掛けていきたい。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	80%	20%	・4つの基本活動について再度確認し、支援の意図や内容と関連付けながら支援を行えるようにしたい。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・言葉を通してのコミュニケーションが難しい児童に対しても、選択肢を用意し指さし等で選択できるようにしている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%		・他の関係機関での取り組みを把握できていないところがあるため確認したい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・自分が聞いた事はすぐに報告し、その他の情報についても職員間で共通認識をもてるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、必要に応じてそれまでの支援内容の情報を提供しているか。	60%	40%		・子どもが安心して移行できるようにするため、日々の支援で気づいた点や変化を職員間で共有することを通して移行支援に間接的に関わられるよう努めたい。 ・把握しておらず、分からない。
	31	管理者・児童発達支援管理責任者が地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設け、職員間で情報を共有しているか。	80%	20%		
	32	地域の他のこどもと活動や交流する機会があるか。	80%	20%		・今後、相談しながら他事業所の見学やボランティアなどの機会に積極的に参加したい

	33	担当者が（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	80%	20%	・今は保護者と挨拶やコミュニケーションを通して名前と顔を覚えてもらえるよう心掛けている。送迎の際にその日の出来事や子どもの様子を伝えコミュニケーションをとることを意識している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	・研修会やペアレントトレーニングは行っていないが、交流会で補えていることはあると思う。	・家族支援プログラムについて把握できていないところがあるため、確認する。
保護者への説明等	36	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	80%	20%		・自分自身が直接説明する機会はないが、運営規定や利用者負担等について把握しておきたい
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画（個別支援計画）の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80%	20%	・そのような機会があった際にはご家族に寄り添う声掛けや、自分で判断できない場合に職員間で共有し丁寧な対応を心掛けたい。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	80%	20%	・昨年の親子BBQで保護者同士、子ども、職員での交流を促した。父母の会等把握できていないところがあるため確認したい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・些細な出来事やトラブルも必ずすぐ報告するよう心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・保護者や子どもが見て、活動や子どもの姿が伝わりやすい写真や記録を心掛けている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・写真は公式に送ったあとすぐに消す、個人情報の漏洩に十分注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・言葉によるコミュニケーションが難しい児童に対しても、個々の児童に応じたジェスチャーを用いたり、選択肢を設けるなどして自身で選択できるよう意識している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する、地域のイベントに参加する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	60%	40%		・必要なものの置き場所や物が揃っているか確認している。想定した訓練が不十分だと感じるため、自身でもマニュアルを復習し、もしもに備えたい。 ・訓練が不十分。 ・それぞれのマニュアルをしっかりと把握していないので、確認する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	80%	20%	・避難経路の確認は子どもたちと歩いて行った。	・活動内での訓練では不十分だと感じるため、職員同士で動線や役割子どもの動きを確認したい ・訓練が不十分
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%		・把握できていないところがあるため確認する ・アレルギーの子がいないが、対応できるようにする。

対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80%	20%		・研修を受けて理解するだけでなく、想定した動きを理解しておきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・すぐに家族に連絡ができるよう、すぐに詳細にその場の出来事を報告することを心掛けている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・その出来事を職員全員で振り返りなぜ起こったか改善策はなにか話し合った上でまとめている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・研修を受け、現状を振り返り今後の支援の仕方について職員間で話し合いを行った。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）に記載しているか。	80%	20%	・身体拘束について研修を受けているが、自分の中だけで考えを持つのではなく、職員間で具体的に話し合い共通認識を持つようにしたい。	